

会報

通常総会議事報告

社団法人 溶接学会 第74回通常総会の議事を下記のとおり報告いたします。

日時 平成18年4月13日(木) 10:00 ~ 11:45

場所 東京ビッグサイト会議棟6階会議室 〒135-0063 東京都江東区有明3-21-1

平成17年度事業報告及び会務報告

(平成17年3月1日 至平成18年2月28日)

平成17年度において本会は次の事業を行った。

事業報告

1. 全国大会 (定款第3条1項)

1.1 春季全国大会

平成17年4月20日~22日 日本教育会館(東京)

研究発表講演95件、特別講演1件、シンポジウム(講演6件)、フォーラム(講演9件)、若手会員のためのフォーラム

参加者 延約1,000名

1.2 秋季全国大会

平成17年9月20日~22日 福井大学文京キャンパス(福井)

研究発表講演217件、特別講演1件、論文賞受賞講演3件、フォーラム(講演7件)、技術セッション(講演5件)、ワークショップ(講演5件)、若手会員のためのイヴニングフォーラム

参加者 延約1,500名

2. 講習会 (定款第3条1項)

2.1 平成17年度溶接技術基礎講座(第33回)

会期 平成17年6月9日、10日

会場 科学技術館(東京)

受講者 32名

2.2 平成17年度溶接工学夏季大学(第54回)「溶接品質確保のための基礎と応用」

会期 平成17年7月4~5日

会場 大阪大学岡田メモリアルホール

受講者 88名

2.3 平成17年度工業高校教員のための溶接工学夏期講座(第42回)

会期 平成17年8月3日、4日、5日

会場 名古屋大学工学部ベンチャービジネスラボ
三菱電機(株)名古屋製作所

トヨタ自動車(株)

(株)ダイヘン中部支社

受講者 5名

3. 刊行 (定款第3条3項)

3.1 溶接学会誌74巻2号~75巻1号(8冊)

主な内容 資料等68篇、データシート7件、展望1篇

3.2 溶接学会論文集23巻2号~24巻1号(4冊)

主な内容 研究論文63篇

- 3.3 全国大会講演概要集 第76集および第77集(2冊)
- 3.4 平成17年度溶接工学夏季大学教材「溶接品質確保のための基礎と応用」
- 3.5 Mate 2006 12th Symposium on "Microjoining and Assembly Technology in Electronics" 論文集(マイクロ接合研究委員会)
- 3.6 シンポジウムテキスト「摩擦攪拌接合の基礎と応用」
- 3.7 「摩擦攪拌接合-FSWのすべて」(産報出版)
- 3.8 シンポジウム論文集「21世紀の自動車における接合技術2005」
- 3.9 新版溶接・接合技術特論

4. 研究活動 (定款第3条1項)

4.1 研究推進部会(小溝裕一部会長)

2回の会合を開催し、各研究委員会の活動状況の把握及び調整並びに研究委員会の活性化を図るとともに、特別研究会1件が終了の成果報告シンポジウムを開催し、特別研究会1件が継続、1件が発足、アドホック研究会が1件及びミニ研究会2件が発足、3件の学会記念基金助成委員会が活動し及び継続を理事会に答申した。WEB化への対応方針について検討した。

(1) 平成17年春季及び秋季大会のフォーラムを開催した。

春季全国大会「土木分野における溶接最前線と将来を展望する」(溶接構造研究委員会)

秋季全国大会「エレクトロニクス実装技術動向と今後の展開」(マイクロ接合研究委員会)

(2) 特別研究会「建築鉄骨における溶融亜鉛メッキ割れに関する研究」(中込忠主査)

建築鉄骨の柱梁溶接接合部におけるH形断面梁の梁ウェブに存在するスカラップ底から、溶融亜鉛メッキ時に割れが発生することがあり、その要因究明のため、実大モデルでのメッキ浸漬実験を行い、その分析を行った。

また、平成14年11月に報告した「建築鉄骨における実用的な入熱・バス間温度の管理手法」を最新技術を含めた追研究を行い、平成17年12月に「建築鉄骨における溶接接合部の品質性能管理手法」として、報告会を開催した。今年度の委員会は合計16回開催した。

(3) 特別研究会「摩擦攪拌接合の高度化」(野城清主査)

4月19日に最終報告会を兼ねたシンポジウム「摩擦攪拌接合の基礎と応用」を開催し、会員への情報提供を行った。

参加者 112名

(4) 特別研究会「TIG溶接並みの高品質溶接を可能とする次世代MIG溶接プロセスの開発・実用化」(平岡和雄、平田好則両主査)

平成17年12月20日に特別研究会準備会として、13名(大学

等 6 名、企業 7 社) の参加を得て、特別研究会の今後方針を議論した。 (a) TIG から MIG へ移行できるもの、(b) TIG しかできないもの、(c) MIG しかできないものについて、文献、特許などを含め現状調査し、それぞれの特徴を整理することから実施することとした。

(5) アドホック研究会「ファイバーレーザスマート加工研究会」(塚本雅裕 主査)

平成17年10月1日にスタートし、研究会2回、準備会3回、幹事会2回開催した。ファイバーレーザを中心に行なった加工の現状を調査し、これからのレーザ加工(レーザスマート加工)について検討した。

(6) ミニ研究会「ナノ構造デザインにおける論理と直観」(高原涉主査)

計算機を利用したナノ構造デザインの現状調査と将来展望を、各委員の研究についての情報交換によって行なうとともに、ナノ材料・構造設計における論理と直観の問題を議論した。主査による聞き取り調査および会合を計3回実施した。

(7) ミニ研究会「溶接問題の解析における大規模高速計算機の活用法」(芹澤 久主査)

近い将来に期待される大規模高速計算機を活用し、現在は解析が困難な実構造物全体を対象として溶接問題を解析するための必要事項を検討するため、平成17年9月にミニ研究会を発足し、今年度は、主査と幹事による資料収集を行った。

(8) 溶接学会記念基金助成活動(森 裕章、川上博士、武市祥司各主査)(参照6.2項)

- ① 第2回海外版基礎セミナー(マレーシア・クアラルンプール)
- ② 日韓若手合同シンポジウム(韓国・ソウル)
- ③ ジョイントシンポジウム(インド・ムンバイ)

4.2 溶接構造研究委員会(南二三吉委員長)

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内 容
第166回	17.3.22	東京	34	研究報告 5件 春季全国大会フォーラムとして開催
第167回	17.4.21	東京		"4th German-Japanese Seminar on Materials, processes and components" 第4回目独セミナーとして開催
第168回	17.7.7~8	ドイツ		"The International Conference on Welding Science and Engineering, 2005 (WSE'05)" 日中セミナーとして開催
第169回	17.10.21~23	中国		

4.3 溶接法研究委員会(中山 繁委員長)

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内 容
第190回	17.5.20	東京	43	研究報告 6件
第191回	17.8.2~3	大阪	55, 35	研究報告 13件
第192回	17.11.8~9	横浜	34, 32	研究報告 7件 見学会
第193回	18.2.2~3	東京	49, 36	研究報告 13件

4.4 溶接冶金研究委員会(粉川博之委員長)

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内 容
第180回	17.5.10	東京	21	研究報告 6件
第181回	17.9.5	大阪	28	研究報告 5件 特別講演 1件
第182回	17.10.11~12	千葉	22, 21	研究報告 8件 見学会
第183回	18.2.2~3	東京	49, 36	研究報告 13件

4.5 溶接疲労強度研究委員会(森 猛委員長)

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内 容
第205回	17.4.26	東京	33	研究報告 5件
第206回	17.6.17	東京	26	研究報告 5件
第207回	17.10.28	九州	18	研究報告 2件 見学会
第208回	18.1.16	東京	27	研究報告 4件

4.6 高エネルギー加工研究委員会(阿部信行委員長)

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内 容
第49回	17.5.18	東京	22	研究報告 6件
第50回	17.10.12	大阪	25	研究報告 6件
第51回	18.2.7	栃木	50	研究報告 4件

4.7 軽構造接合加工研究委員会(菅 泰雄委員長)

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内 容
第69回	17.6.6	東京	48	研究報告 5件
第70回	17.9.13	大阪	35	研究報告 6件
シンポジウム	17.10.13~14	東京	111	JAAA2005シンポジウム
第71回	17.11.10	つくば	15	研究報告 2件 見学会
第72回	18.1.20	東京	45	研究報告 7件

4.8 溶接アーク物理研究委員会(平田好則委員長)

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内 容
第158回	17.5.12	東京	26	研究報告 6件
第159回	17.8.2~3	大阪	55, 35	研究報告 13件
第160回	17.11.2	東京	37	研究報告 5件 特別講演 1件
第161回	18.2.10	東京	31	研究報告 6件

4.9 マイクロ接合研究委員会(高橋康夫委員長)

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内 容
第77回	17.5.27	東京	73	研究報告 6件
第39回	17.7.1	東京	82	研究報告 8件
分科会				
第78回	17.9.2	東京	70	研究報告 7件
第79回	17.9.22	福井		秋季全国大会フォーラムとして開催
第40回	17.10.28	東京	73	研究報告 5件 特別講演 1件
分科会				
第80回	17.12.9	東京	69	研究報告 7件
シンポジウム	18.2.2~3	横浜	702	Mate2006シンポジウム

4.10 界面接合研究委員会(渡辺健彦委員長)

会合名	開催年月日	開催地	出席者数	内 容
第69回	17.5.20	東京	26	研究報告 6件
第70回	17.10.7	東京	28	研究報告 6件 特別講演 1件
第71回	18.1.20	東京	23	研究報告 7件

5. 国内活動(定款3条項4)

5.1 日本溶接会議(JIW)の活動援助を行った。

5.2 共催、協賛、その他(承認順)

日本学術会議接合工学専門委員会、金属工学研究連絡委員会、材料研究連絡委員会、造船研究連絡委員会、構造工学研究連絡委員会、生産学術連合会、日本工学会、電子情報技術産業協会、日本技術者教育認定機構等の活動に協力した。

(1) 協賛:日本機械学会「第15回設計工学・システム部門講演会、真のゆたかさを実現する設計とシステム」

(05.08.03~05)

(2) 後援:日本溶接協会「物つくりを支える溶接技術の進歩、品質向上に関する基礎と応用」(05.03.7)

(3) 共催:エコデザイン学会連合「Eco Design 2005」

(05.12.12~14)

(4) 協賛:ICNDST-10「The 10th Int. Conf. on New Diamond Sciences & Technology」(05.05.11.0~14)

(5) 協賛:日本非破壊検査協会「第4回保守検査シンポジウム」(05.03.03~04)

(6) 協賛:日本高圧力技術協会「第15回セミナー、圧力設備の材料、設計、施工、維持管理」(東京:05-06.09~10、大阪:05.11.17~18)

(7) 協賛:レーザ加工学会「第62回レーザ加工学会」

(05.05.25~26)

(8) 協賛:腐食防食協会「第152回腐食防食シンポジウム、建築設備の給油配管材料とレジオネラ対策」(05.06.29)

- (9) 協賛：腐食防食協会「第151回腐食防食シンポジウム、シンクロトロン放射の腐食技術への応用」(05.06.29)
- (10) 協賛：日本材料学会「第35回初心者のための有限要素法講習会」(05.07.27～28, 08.24～25)
- (11) 協賛：日本材料学会「第3回初心者のための疲労設計講習会」(09.13～14)
- (12) 協賛：日本顕微鏡学会「電子顕微鏡大学」(04.04)
- (13) 協賛：日本高圧力技術協会「セミナー、圧力容器関連規格の国内外動向」(06.29)
- (14) 後援：日本溶接協会「第35回原子力シンポジウム」(06.10)
- (15) 後援：日本溶接協会「鋼構造物の疲労損傷は防止できるのか?」(05.10)
- (16) 協賛：日本学術振興会プラズマ材料科学第153委員会「第18回プラズマ材料科学シンポジウム」(06.28～29)
- (17) 日本学術会議第49回材料研究連合会 パネル討論会「材料研究と社会貢献」コメンテータ推薦依頼
- (18) 協賛：溶接接合工学振興会「第16回セミナー」(10.26)
- (19) 協賛：LAMP 2006 組織委員会「第4回レーザ先端材料加工国際会議」(5.16～19)
- (20) 協賛：日本鉄鋼協会「異業種交流セミナー」(6.15)
- (21) 協賛：高温学会、レーザ加工学会「第3回中部レーザ応用技術研究会・レーザ工学会合同研究会」(2005.07.01)
- (22) 協賛：日本高圧力技術協会「HPI技術セミナー」(8.29～30)
- (23) 協賛：腐食防食協会「第37回セミナー」(6.15)
- (24) 協賛：自動車技術協会「第3回全日本学生フォーミュラ大会」(9.6～9)
- (25) 協賛：日本保全学会「第2回学術講演会」(7.8～9)
- (26) 協賛：日本非破壊検査協会「学術セミナー」(4.22)
- (27) 協賛：FGM 2003 国内シンポジウム実行委員会（北大）「第5回アジア・バイオセラミックス会議」(10.1～3)
- (28) 協賛：日本熱電学会「日本熱電学会・講習会2005」(9.2)
- (29) 協賛：第6回反応性プラズマ国際会議/第23回プラズマプロセンシング研究会(06.01.24～27)
- (30) 協賛：(財)製造科学技術センター「知的生産システムシンポジウム」(7.20)
- (31) 協賛：日本金属学会「第11回世界チタン会議」(07.6.3～7)
- (32) 協賛：日本高圧力技術協会「技術セミナー」(9.13)
- (33) 協賛：日本材料学会「分子動力学国際記念シンポジウム」(8.29～30)
- (34) 協賛：日本材料学会「第12回破壊力学シンポジウム」(10.17～18)
- (35) 協賛：日本材料学会「第15回疲労講座」(11.17)
- (36) 協賛：日本材料学会「ノートパソコンでできる原子レベルのシミュレーション入門講座」(9.8～9)
- (37) 協賛：日本材料学会「第8回材料の衝撃問題シンポジウム」(12.8～9)
- (38) 協賛：日本塑性加工学会「第56回塑性化合連合講演会」(11.18～20)
- (39) 協賛：アジア容射委員会「第1回アジア容射会議」(11.28～29)
- (40) 協賛：物質・材料研究機構「第9回超鉄鋼ワークショップ」

- (7.20～21)
- (41) 後援：(財) 神奈川科学アカデミー「平成17年度 KAST 教育講座」(9.6～21)
- (42) 後援：日本溶接協会「熱切断作業の品質と安全講習会、ガス、プラズマ、レーザ切断の勘所」(08.26)
- (43) 協賛：腐食防食協会「第52回材料と環境討論会」(09.14)
- (44) 後援：日本溶接協会「法人設立40周年記念シンポジウム」(10.7)
- (45) 協賛：大阪大学接合科学研究所「2nd Int. Conf. on the characterization and control of interfaces for high quality advanced materials, and joining technology for new metallic glasses and inorganic materials」(06.09.06～09)
- (46) 協賛：日本材料学会「腐食防食部門委員会第246例会」(09.12)
- (47) 協賛：日本高圧力技術協会「第3回事故から学リスクマネジメント、構造の災害事故はなぜ起こり、防止できないのか」(10.11～12)
- (48) 協賛：日本溶接協会「2006国際ウェルディングショー」(06.04.12～15)
- (49) 協賛：腐食防食協会「第38回技術セミナー、エロージョンの発生機構と防止対策」(10.05)
- (50) 協賛：エレクトロニクス実装学会「第15回マイクロエレクトロニクスシンポジウム (MES 2005)」(10.13～14)
- (51) 協賛：強化プラスチック協会「創立50周年講演会」(09.26～27)
- (52) 協賛：傾斜機能研究会「GFM 2005 in Nagoya、第17回傾斜機能シンポジウム」(11.21～22)
- (53) 協賛：日本溶接協会「原子力構造機器の材料、設計、施工、検査、維持に関する講習会」(11.16～17)
- (54) 協賛：レーザ協会「第29回レーザ協会、レーザ加工2005－ナノ・マイクロ加工」(11.11)
- (55) 協賛：腐食防食協会「腐食防食シンポジウム、社会資本主義における腐食の現状と大作について」(10.05)
- (56) 協賛：日本溶接協会「プラント圧力設備についての維持管理と溶接補修に関するシンポジウム」(11.09)
- (57) 協賛：日本自動車技術会「新たな車体疲労信頼性アプローチ、市場入力把握と疲労評価技術」(11.30)
- (58) 協賛：日本非破壊検査協会「第15回アコースティック・エミッション総合コンファレンス」(12.01～02)
- (59) 協賛：日本材料学会「第43回高温強度シンポジウム」(12.08～09)
- (60) 協賛：日本材料学会「第21回材料・構造信頼性シンポジウム」(12.14～15)
- (61) 協賛：日本保全学会「高経年化と保全」(11.11)
- (62) 共催：日本保全学会「材料・構造物の劣化・検査・健全連合講演会」(06.01.26～27)
- (63) 協賛：レーザ加工学会「第65回レーザ加工学会」(12.05～06)
- (64) 協賛：日本材料学会「第42回X線材料強度に関する討論会」(12.02)
- (65) 協賛：日本高圧力協会「技術セミナー、構造健全性評価ハンドブックの使い方」(11.10～11)
- (66) 協賛：日本鋳造工学会「技術講習会、鋳造品の非破壊評価

- 技術」(10.18)
- (67) 協賛：溶接接合工学振興会「特別講演会、国創りに貢献する科学技術創造を目指して & アジアの文化遺産の保存修復を通じて国際貢献」(11.25)
- (68) 協賛：日本ガススタービン学会「セミナー、ガススタービンの最新技術動向と将来展望」(06.01.26~27)
- (69) 共催：日本学術会議「第36回安全工学シンポジウム」(06.07.06~7) 分担金 2 万円
実行委員推薦：粉川学術理事
- (70) 協賛：日本非破壊検査協会「非破壊評価総合展 2005」(11.15~18)
- (71) 共催：日本アイソトープ協会「第43回アイソトープ・放射線研究発表会」(06.8) 委員推薦：粉川理事
- (72) 協賛：日本金属学会「セミナー、環境／エネルギー関連機器用高温耐食材料の保護皮膜の生成と破壊－高温腐食メカニズムの解明と寿命予測技術はどこまで進歩したのか」(06.02~03)
- (73) 協賛：塑性加工学会「塑性加工フォーラム、日本経済を支える技術者の教育を考える、技術者再教育の視点から」(06.01.11)
- (74) 共催：プラズマ・核融合学会・日本原子力学会「第6回核融合エネルギー連合講演会」(06.06.13~14)
- (75) 協賛：日本高圧力協会「第6回セミナー、エネルギー貯蔵等技術基準と安全性」(06.02.09~10)
- (76) 協賛：日本塑性加工学会「第244回塑性加工シンポジウム、金型技術の高付加価値化」(06.01.13)
- (77) 協賛：日本溶接協会「2005年度 LMP シンポジウム、レーザ溶接、その新展開と継手特性」(06.01.30~31)
- (78) 協賛：日本高圧力技術協会「セミナー、第4回リスクベースメンテナンスの基礎と応用」(06.03.06)
- (79) 共催：日本接着学会「第44回年次大会」(06.06.30~07.01)
- (80) 後援：日本溶接協会「第36回原子力国内シンポジウム、高経年化プラントの補修・取替・保全技術」(06.02.08)
- (81) 協賛：日本材料学会「第10回機械・構造物の強度設計、安全性評価に関するシンポジウム」(06.02.23~24)
- (82) 協賛：日本材料学会「X線応力測定講習会、実習付き」(06.01.19)
- (83) 協賛：日本材料学会「第35回 FRP シンポジウム」(06.03.16~17)
- (84) 協賛：日本材料学会「第41回 X 線材料強度に関するシンポジウム」(06.07.13~14)
- (85) 共催：日本学術会議安全工学専門委員会「第36回安全工学シンポジウム」(06.07.06~07) 分担金 2 万円、委員推薦：粉川学術理事
- (86) 協賛：日本計算工学会「第10回日本計算工学会講演会」(06.06.12~14)
- (87) 協賛：日本非破壊検査協会「学術セミナー」(06.03.07)
- (88) 共催：生産学術連合会議「第9回生産学術連合会議」(06.01.13) 分担 2 万円 委員推薦
- (89) 後援：日本圧接協会「講習会、鉄筋継手マニュアル」(06.01.27~03.10)
- (90) 協賛：日本圧力技術協会「技術セミナー、構造健全性評価ハンドブックの使い方」(06.04.17~17)
- (91) 協賛：日本非破壊検査協会「第37回応力・ひずみ測定と強度評価シンポジウム」(06.01.13)
- (92) 協賛：日本非会検査協会「第9回表面シンポジウム、微少きずの高感度探傷ときずの定量評価」(02.02~03)
- (93) 協賛：画像センシング技術研究会「第12回画像センシングシンポジウム」(06.07~09)
- (94) 協賛：日本非会検査協会「第13回超音波による非破壊評価シンポジウム」(01.24~25)
- (95) 後援：日本溶接協会「講習会：第12回溶接の研究」(02.27)
- (96) 協賛：日本非破壊検査協会「第18回国際アコースティック・エミッションシンポジウム」(07.25~27)
- (97) 後援：高性能 Mg 合金創生加工研究会「マグネシウムに関する安全講習と実習」(02.02~03)
- (98) 後援：日本溶接協会「ステンレス鋼溶接施工におけるトラブル事例とその原因・対策」(03.16)
- (99) 共催：日本原子力学会「第44回原子力総合シンポジウム」(5月末) 共催金 1 口 5,000 円
運営委員推薦：粉川学術理事
- (100) 協賛：日本高圧力技術協会「セミナー、圧力設備の材料、設計、施工、維持管理」(06.8~9：東京、11.09~10：大阪)
- (101) 協賛：日本鉄鋼協会「異業種セミナー、エネルギー資源・その高効率利用技術とそれらを支える材料技術の開発最前线」(04.21)
- (102) 協賛：FMG 2006 国内シンポジウム実行委員会「第18回傾斜機能材料」(06.29~30)
- (103) 協賛：Techno-Ocean 2006/19th Ocean Eng. Symp “Techno-Ocean 2006/19th Ocean Eng. Symp” (10.18~20)
- (104) 協賛：腐食防食協会「第39回技術セミナー」(03.07)
- (105) 協賛：腐食防食協会「第155回腐食防食シンポジウム」(02.07)
- (106) エコデザイン学会連合運営協議会 2006 年度運営協議会 委員推薦：竹本理事
- (107) 協賛：日本非破壊検査協会「第5回保守検査シンポジウム」(03.09~10)
- (108) 協賛：日本保全学会「第3回学術講演会」(07.06~07)
- 5.3 金属関係学協会連絡委員会に参加して各種連絡を行った。
- 5.4 次の学協会と機関誌を交換し研究連絡、情報交換を行った。
- | 学協会名 | 誌名 | 学協会名 | 誌名 |
|-----------|---------|-----------|--|
| 軽金属学会 | 軽金属 | 日本建築学会 | 建築雑誌 |
| 軽金属溶接構造協会 | 軽金属溶接 | ♪ | Journal of Asian Architecture and Building Engineering |
| 高温学会 | 高温学会誌 | | |
| 高圧ガス保安協会 | 高圧ガス | 日本高圧力技術協会 | 圧力技術 |
| 電気学会 | 電気学会誌 | 日本鋼構造協会 | JSSC |
| 電気製鋼研究会 | 電気製鋼 | 日本接着学会 | 日本接着学会誌 |
| 土木学会 | 土木学会誌 | 日本造船学会 | TECHNO MARINE |
| ♪ | 土木学会論文集 | ♪ | 造船学会論文集 |
| 日本海事協会 | 日本海事協会誌 | 日本鉄鋼協会 | 鉄と鋼 |
| 日本機械学会 | 日本機械学会誌 | ♪ | ふえらむ |
| 日本橋梁建設協会 | 虹橋 | ♪ | ISIJ International |
| 日本金属学会 | まてりあ | 日本非破壊検査協会 | 非破壊検査 |
| 日本溶射協会 | 溶射 | 日本溶接協会 | 溶接技術 |

6. 國際活動 (定款3条項4)

6.1 國際溶接学会 (IIW) 関連

- ① IIW の活動を支援して年間を通じ IIW の日常活動及び年次大会 (第58回) (チェコ共和国プラハ, 7月10日~15日) を支援し, 参加した. 参加者は42カ国 686名, 日本からは93名 (含同伴).
- ② 地域会議 2件, テルアビブ (イスラエル, 1月25日~28日) 及びムンバイ (インド, 2月16日~19日) に日本から数名参加した.

6.2 アジア溶接連盟 (AWF) の活動及び総会 3回に参加した.

クアラルンプール (マレーシア, 3月29日, 日本11名), ソウル (韓国, 6月24日, 12名), ムンバイ (インド, 10月21日, 6名). 開催国の要請により会期中, 各日本・アジア若手セミナーが行われた (前掲).

6.3 次のとおり機関誌を交換し, 研究情報の交流を推進した.

誌名	国名
1 Australian Welding Research	オーストラリア
2 Revista Soldadura	アルゼンチン
3 Schweiss- & Prufung Technik	オーストリア
4 Reveu de la Soudure - Lastijdschrift	ベルギー
5 Leurotest Technical Bulletin	〃
6 Metalurgia	ブラジル
7 Revista da Soldagem	〃
8 Soldagem & Inspecção	〃
9 Canadian Welder & Fabricator	カナダ
10 Zvaranie	チェコ
11 Welding News	〃
12 Hitsaustekniikka Svetsteknik	フィンランド
13 Soudage et Techniques Connexes	フランス
14 Bulletin Singanaletique	〃
15 Sciaky	〃
16 Schweissen und Schneiden	ドイツ
17 Schweißtechnik	〃
18 Wissenschaftliche Zeitschrift	〃
19 Indian Welding Journal	インド
20 Journal of the Association of Engineers	〃
21 Rivista Italiana dellaaldatura	イタリー
22 Korean Scientific Abstracts	韓国
23 大韓金属学会誌 (Journal of KMM)	〃
24 大韓溶接学会誌	〃
25 Metals and Materials	〃
26 Korean Welding Society	〃
27 Lastechniek	オランダ
28 Przeglad Spawalnictwa	ポーランド
29 Biuletyn Instytutu Spawalnictwa	〃
30 Polish Engineering	〃
31 Technologia Qualidade	ポルトガル
32 Buletin IPI	ルーマニア
33 Serie de Metalurgia	〃
34 Sudura	〃
35 Revista de Metallurgia	スペイン
36 Revista de Soldadura	〃
37 Soldadura y Tecnologías de Unión	〃

38 Svetsaren	スウェーデン
39 Schweißtechnik Soudure	スイス
40 Welding & Metal Fabrication	英國
41 Welding Review	〃
42 Metals Technology	〃
43 Welding International	〃
44 Welding Journal	米国
45 Welding Research Abroad	〃
46 WRC Bulletin	〃
47 CA Selects (Ceramic Materials)	〃
48 Avtomaticheskaya Sverka	ウクライナ
49 Strength of materials	〃
50 All - Union Monthly of Engineering Physics	〃
51 Zavarivac	スロベニア
52 Varilna Tekhnika	〃
53 Science in China	中国
54 地質学報	〃
55 金属学報	〃
56 鋼鉄	〃
57 Transactions of the China Welding Institution	〃
58 冶金分析	〃
59 材料科学	〃
60 China Welding	〃

II. 会務報告

1. 第73回通常総会

日 時 平成17年4月21日 (木) 開会

開会 午前10時00分 開会 午前11時45分

場 所 (財)日本教育会館 会議室

東京都千代田区一ツ橋2-6-2

議決権を有する者: 理事 20名 (うち 5名は評議員と兼任)

評議員 147名

出 席 28名 (理事10名, 評議員18名)

委任状 92名 (理事 6名, 評議員86名)

合 計 120名 (総数 162名)

監 事

出 席 豊田政男

議 事

① 平成16年度事業及び会務報告の件 承認

② 平成16年度収支決算報告の件 承認

③ 監査報告 承認

④ 平成17年度事業計画の件 承認

⑤ 平成17年度収支予算の件 承認

⑥ 定款改訂の件 承認

⑦ 特別員推薦

堀川浩甫君

⑧ 表彰

イ. 溶接学会賞

豊田政男君

ロ. 溶接学会功績賞

浦谷良美君

ハ. 溶接学会貢献賞

黄地尚義君、大嶋健司君、宮田隆司君

二. 溶接学会業績賞
池内建二君、平岡和雄君、前川 仁君
ホ. 平成16年度佐々木賞
中山 繁君、原沢秀明君、小林順一君
ヘ. 平成16年度溶接学会論文賞並びに溶接学会論文奨励賞
溶接学会論文賞（3件）
佐藤之彦君、石田宗秋君、全 紅軍君
上山智之君、平田弘征君、小川和博君
溶接学会論文奨励賞（3件）
伊藤礼輔君、川畑友弥君、宮坂史和君
ト. 平成16年度田中亀久人賞
笛木聖人君、本江敦忠君、元松隆一君、
須田一師君、大北 茂君、橋場裕治君、
豊原 力君、辻井 浩君
チ. 平成16年度溶接学術振興賞
成田敏夫君（北海道支部推薦）
小溝裕一君（関西支部推薦）
深谷保博君（中国支部推薦）
リ. 妹島賞
浅井 知君
ヌ. 平成16年度溶接学会研究発表賞
平成16年度春季全国大会（3名）
佐藤 裕君、陸 善平君、宮坂史和君
平成16年度秋季全国大会（7名）
柴原正和君、岡村興作君、青木悠生君、
漆原 亘君、増子知樹君、北村貴典君、
本間竜一君
ル. 溶接学会ベストオーサー賞（3件）
松村由樹君、田中 学君、Dirk Petring君
ヲ. 溶接学会シンポジウム賞
Mate 2005 優秀論文賞
鈴谷浩之君、佐山利彦君、上杉健太朗君、
土山 明君、中野 司君、安田秀幸君、
高柳 純君、森 孝男君
Mate 2005 研究奨励賞
高橋 武彦君、林 真太郎君
溶接構造シンポジウム 2004 優秀論文賞
石山隆庸君、永田幸伸君、豊貞雅宏君
後藤浩二君、村上幸治君
ワ. 平成16年度溶接学会奨学賞
北海道支部：水本豊和君
東北支部：大杉正洋君
東部支部：Rattana Borrisuttekul君、福原圭吾君、
木暮知弘君
関西支部：尾崎英樹君、長治雅倫君、
山本孝志君、十河陽介君、
立野高寛君、溝尻瑞枝君
東海支部：孕石泰丈君、徐 国建
中国支部：持田淳志君
中国支部：山田圭介君
九州支部：藤川貴陽君、松本和幸君

⑨ 溶接学会フェロー
杉山慎彦君、寺本富彦君、大隅 真君、内田昌克君、
大塚昭夫君、安田克彦君、羽石良一君、座古 勝君
⑩ 溶接学会記念基金その他の寄付金の受入れ状況及び活用状況報告
⑪ 感謝状贈呈
中村治方名誉員（溶接学会記念基金への寄付）
中国支部（平成16年度秋季全国大会開催担当）殿

2. 評議員会
日 時 平成17年4月20日（水）17:05開会 18:05閉会
場 所 日本教育会館会議室
東京都千代田区一ツ橋2-6-2
議決を有する者：評議員 147名
出席者 15名、委任状による出席 78名、合計 93名（総員147名）
議 事 ① 平成16年度事業及び会務報告の件 承認
② 平成16年度収支決算報告の件 承認
③ 監査報告 承認
④ 定款改定の件 承認
⑤ 平成17年度事業計画の件 承認
⑥ 平成17年度収支予算の件 承認
⑦ 溶接学会規則改定の件 承認

3. 理事会（定例7回）

本年度の主な議題・決議事項

（1）溶接学会活性化について

学会の活性化に向けて、企画委員会を中心に、将来展望と活動目標を検討する活動を実施し、学会構成員の評価向上、溶接（高度）技術者教育、支部との連携のあり方、賛助会員へのサービスのあり方、などアクションプログラムの効果を引き続き検討するとともに、会勢増強、活動資金獲得に向けた活動の推進を図った。

（2）財政改善について

逼迫した財政状態改善のために、人件費、事務費の節減、会誌印刷費のコスト低減など支出を引き締めるとともに、講習会、広告料など会費外収入の増加を図り逐次実行に移した。

（3）会勢の拡張について

正員の増強、学生に対する啓発及びサービス活動の強化、そして財源の安定化と学会活動の浸透を図った。

（4）特別研究活動の推進について

研究推進部会の提案に基づいて、特別研究会の設置及び活動の推進について審議し、特別研究会（2件）が成果報告のシンポジウム及び講習会を開催（前掲）し、1件が発足した。アドホック研究会1件、ミニ研究会2件が発足し活動した。

4. 業務委員会活動

4.1 企画委員会（西本和俊委員長）

学会の活性化に向けて、前年度に引き続き、学会活動の活性化及び会勢拡大を目指した「MeRIT-21 ビジョン：21世紀における溶接研究・技術の将来展望と溶接学会ビジョン Part II」の実務活動を展開した。この活動の中で、学会構成員のメリット創出、会勢増強、財政基盤強化に向けた活動を検討するとともに、学会の情報化、溶接（高度）技術者教育、研究委員会の活性化、学会支部や協会との連携のあり方など、アクションプログラム等を引き続き推進した。会勢拡大を目指した活動では、会員増

強推進委員、研究委員会、理事を通じて積極的勧誘を実施した。情報化推進関連としては、査読システムの電子化、論文集のWEB刊行化について、アクションプランを策定するとともに、その試行を開始した。教育関連では、溶接技術者教育に関するアンケート、ならびに、WES溶接管理技術者向けの溶接学会に関するアンケート調査を行うとともに、各種行事のIIW特認ポイントを制定した。研究活性化に向けた活動では、既存研究委員会の連携と活動の活性化を推進するとともに、1件の特別研究委員会、1件のアドホック委員会及び2件のミニ研究委員会の4つの研究委員会の新規設立を認可した。さらに、他学協会との連携では、特に日本溶接協会との連携を模索すべく協議会を設け、両体制の協調関係について協議し、今後も定期的に連絡協議会を開催することを合議した。

4.2 論文査読・審査委員会（平岡和雄委員長）

年度内4回の定例委員会を開催し、投稿論文の査読及び掲載可否決定の審査を実施した。インターネット利用による電子査読委員会の試行を開始し、投稿論文査読開始時における査読者の選任およびその審議・承認手続きを電子査読委員会で行い、投稿と同時に査読審査を開始できるシステムを確立した。この結果、論文投稿から掲載までの期間が8ヶ月以内の論文が全論文の75%以上、6ヶ月以内の論文50%以上を達成した。

英文誌STWJ (Science and Technology of Welding and Joining)の共同編集に引き続き参加し、年間10件の溶接学会論文をSTWJ誌へ推薦した。また、STWJ誌のオンライン投稿化に伴い、STWJ-JWS collaboration 推薦投稿における投稿要領およびSTWJ審査に関して、見直し作業を行い、新たに内規を策定した。

4.3 全国大会運営委員会（藤本公三委員長）

- (1) 年度内4回の委員会を開催し、平成17年度春季・秋季全国大会および平成18年度春季・秋季全国大会の企画・運営について協議決定した。
- (2) 講演概要集第76集および第77集を編集発行した。
- (3) 平成17年度秋季および平成18年度春季全国大会プログラムを編成した。
- (4) 全国大会研究発表講演の「溶接学会研究発表賞」審査を平成17年度春季及び秋季大会にて実施した。
- (5) 春季大会にて産業界の有識者による特別講演を実施した。
- (6) 国立情報学研究所（NII）の電子図書館サービス（NACSIS-ELS）に全国大会講演概要集掲載に引き続き参加し実施した。
- (7) 科学技術情報発信・総合流通システム（J-Stage）を利用した、インターネットによる全国大会研究発表・原稿提出・J-Stageにて公開を実施した。

4.4 編集委員会（南二三吉委員長）

年度内6回の委員会及び分野別担当者会議を開催し、溶接学会誌及び溶接学会論文集の編集並びにそれぞれの刊行に関する業務を実行した。また、論文査読審査委員会、情報化委員会との共同ワークとして情報化推進のためのWGを3回開催し、論文集のweb発刊に向けての業務を行った。さらに、科学技術情報発信・流通総合システムへの溶接学会論文集の参加、及び国立情報学研究所の電子図書館サービスへの溶接学会誌及び溶接学会論文集掲載に引き続き参加することを実施した。

英文誌STWJ (Science and Technology of Welding and Joining)の共同編集に引き続き参加した。

「和文論文誌の抱えている諸問題の解決に向けて」の検討会及び「材料系英文誌ポータルサイト」の検討会に参加し、和文誌発行に関わる現状の問題点整理と和文誌の国際的地位向上に向けての対策、国内の材料系諸学協会の関係する材料系英文誌の国際的広報強化策について議論した。

4.5 國際交流委員会（野村博一委員長）

- (1) 國際交流の在り方、國際戦略について検討した。
- (2) 海外名誉員、推薦会員（Guest Member）について検討した。
- (3) 日米、日韓、及びベトナム等学術交流協定に基づいた協力事項を検討した。
- (4) 各国からの依頼事項、照会事項を処理した。
- (5) アジア溶接連盟（AWF）の日常活動及び総会に参加した。

4.6 科学研究費委員会（西本和俊委員長）

文部省科学研究費分科細目の変更に係る問題の検討及び科学研究費の申請に係る事項を処理した。

4.7 溶接用語委員会（池内建二委員長）

- (1) JIW第6委員会と合同で1回の委員会を開催し、IIW第VI委員会の活動を支援した。
- (2) 日本溶接協会規格委員会、JIS溶接用語改訂準備委員会の活動に協力した。
- (3) 溶接・接合用語辞典の発刊を検討した。

4.8 溶接教育委員会（平田好則委員長）

- (1) 年度内2回の委員会を開催し、本会の普及・教育活動に関する課題について検討した。
- (2) 平成17年度溶接技術基礎講座を開催した。（前掲）
- (3) 平成17年度溶接工学夏季大学を開催した。（前掲）
- (4) 第42回工業高校教員のための溶接工学夏期講座を検討した。（前掲）
- (5) IIW第XIV委員会等と連絡し、各国と溶接教育について情報を交換した。
- (6) 国際溶接学会（IIW）溶接技術者資格制度特認コースの運用実施について、日本溶接協会と連携作業した。
- (7) 全国の大学・高専に対して、IIW特認コースについてのアンケートを実施し、IIWシラバスと授業科目の関連や溶接基礎教育などについて調査した。
- (8) 溶接学会各支部や研究委員会、日本溶接協会が企画・実施した講習会やセミナー、シンポジウムのIIW履修ポイントについて、IIW特認コースWGを通してアナウンスした。
- (9) 溶接技術者・溶接技能者の育成のための学協会と教育機関（大学・高専・工業高校）の連携について検討した。
- (10) IIW特認コースについて本誌において解説し、(7)のアンケート調査結果とともに、大学・高専の授業科目のIIW履修ポイントへの読み替えなどに言及した。

4.9 溶接情報化委員会（平岡和雄委員長）

年度内4回の定例委員会及び2回のWGを開催し、溶接学会の学術情報公開の基本方針等を検討し、溶接学会論文集の発刊後即一般公開、全国大会講演概要の大会終了後即一般公開を溶接学会HPにリンクするJ-STAGE（新技術開発事業団）およびNII（国立情報研究所）にて行う。溶接学会誌については、会員には発刊後公開、非会員には3年後公開とした。各研究委員会

資料については、1年後以降会員に公開で検討する。その他資料情報は、HPの整備後検討することを決めた。

投稿論文の早期登載、投稿料の低価格化を目指し、溶接学会論文集の印刷版発刊からWEB上での発刊への移行を検討し、平成19年1月より印刷版論文集の発刊を廃止し、WEBでの論文集発刊を決めた（印刷版論文集は1年分を纏めて単行版として別売する）。なお、平成18年6月以降、印刷版論文集発刊と併行してWEB上での論文集発刊を試行することとした。

5. 若手会員の会（武市祥司委員長）

5.1 若手会員のためのフォーラム（共催：（財）溶接接合工学振興会）

（1）春季全国大会フォーラム、懇親会

主 題：さまざまな学協会の若手の会の取り組み
日 時：平成17年4月21日（木）17:00～19:00
場 所：（財）日本教育会館（春季全国大会開催会場）
6階会議室

参加者：28名

（2）秋季全国大会フォーラム、懇親会

主 題：若手講演者の研究紹介と若手会員の交流会
日 時：平成17年9月21日（水）17:45～19:45
場 所：福井大学 文京キャンパス アカデミーホール
参加者：40名

5.2 若手会員のためのセミナー・勉強会

（1）勉強会

主 題：数値計算法の新たな展開－マルチフェーズ輸送現象の高精度予測手法（講演4件）
日 時：平成17年10月6日（木）13:00～17:20
場 所：大阪大学接合科学研究所荒田記念館
参加者：70名

（2）海外溶接基礎セミナー（記念基金助成活動「グローバルネットワークの形成プロジェクト」と共催）

主 題：Japanese Young Professors Technical Forum on Welding（講演5件）
日 時：平成17年3月30日（水）9:00～14:00
場 所：Matahari 3 & 4- Level 5, Cititel MidValley (Kuala Lumpur, Malaysia)
参加者：約30名

（3）海外溶接基礎セミナー（記念基金助成活動「グローバルネットワークの形成プロジェクト」と共催）

主 題：The 1st KWS-JWS Joint Symposium of Young Researchers
(日韓で講演5件ずつ計10件)
日 時：平成17年6月24日（金） 9:00～12:40
場 所：COEX ASEM Hall Meeting Room No.208A
(Souel, Korea)

参加者：約40名

（4）海外溶接基礎セミナー（記念基金助成活動「グローバルネットワークの形成プロジェクト」と共催）

主 題：National Welding Seminar -Japanese Young Professors Special Session（講演7件）
日 時：平成17年10月20日（木）13:30～18:15
場 所：Fariyas Holiday Resort Reception Room (Mumbai, India)

参加者：約80名

5.3 広報および情報交換

- （1）溶接学会誌「若手会員の会 自由編集ページ」に、イブニングフォーラムの報告、勉強会の報告等を掲載した。
- （2）溶接学会誌に年2回、若手研究者による研究活動報告「スポットライト」を掲載している。平成17年度は「解析とシミュレーションを用いた技術伝承への取組」（第4号）と「解析・設計解探索融合による電子デバイス配置熱設計手法」（第8号）を掲載した。
- （3）溶接学会誌に年1回、勉強会と連携した特集記事を掲載している。平成17年度は、「数値計算法の新たな展開－マルチフェーズ輸送現象の高精度予測手法－」を平成18年第3号に掲載した。
- （4）ホームページに活動報告、行事案内等を掲載した。
- （5）メーリングリスト（E-mail）による情報交換を促進した。
有効登録者数 約191名（平成18年2月28日現在）
E-mail投稿数 約150通（平成17年3月1日から平成18年2月29日まで）

5.4 若手会員の会運営委員会（武市祥司委員長）

計2回の運営委員会を開催し、活動方針と企画について審議した。

・第32回運営委員会

日 時：平成17年4月21日（木）12:00～12:50
場 所：（財）日本教育会館（春季全国大会開催会場）
9F喜山

出 席：13名（在籍44名）

・第33回運営委員会

日 時：平成17年9月21日（水）12:25～13:00
場 所：福井大学 文京キャンパス ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー 5F VBL会議室（福井大学（秋季全国大会開催会場）内）

出 席：13名（在籍45名）

6. その他の諸会合

支部長会議	4
財務理事会	2
総務理事会	1
特別員選考委員会	1
溶接学会貢献賞授賞審査委員会	1
溶接学会業績賞審査委員会	1
佐々木賞審査委員会	1
溶接学会論文賞・溶接学会論文奨励賞審査委員会	1
田中亀久人賞授賞審査委員会	1
溶接学術振興賞審査委員会	1
妹島賞授賞審査委員会	1
溶接学会研究発表賞審査委員会	2
溶接学会シンポジウム賞審査委員会	2
溶接学会ベストオーラー賞	1
溶接学会フェロー選考委員会	2

7. 会 勢

会員数（平成18年2月末現在）

賛助員		団体員 (口数)	個人会員				個人会員	
会員数	口 数		名誉員	特別員	推薦会員	正 員		
393	974	52(57)	33	68	11	2,949	232	3,293

会員の移動

種 別	賛 助 員		正 員	学生員	団体員 (口数)
	会員数	口 数			
17年度初在籍数	395	1,003	3,028	222	53(58)
入 会	15	15	118	74	----
退 会	17	37	218	44	1(1)
口 数 変 更	増	-----	-----	-----	-----
	減	(3)	7	-----	-----
資 格 変 更	増	-----	-----	17	-----
	減	-----	-----	*1	17
計	393	** 974	** 2,949	** 232	52(57)

* : 特別員へ移行 (1名)

** : 退会保留中のものを整理(正員 5名, 学生 3名)